

陳 情 文 書 表

受理番号・受理年月日及び件名	陳情第108号（3.8.25） 神戸市独自での少人数学級の実施を求める陳情
陳情の要旨	1. 今すぐ30人以下学級を小学校、中学校で実施すること。 2. 20人学級を目指し、正規教職員増と教室の確保を神戸市の責任で行うこと。
陳情者の住所及び氏名	神戸市中央区 子どもファーストな教育を考える会@KOBE ～まずは少人数学級実現を～ 西松夏美
送付委員会	教育こども委員会

神戸市議会議長 様

25
2021年8月24日

子どもファーストな教育を考える会@KOBE

～まずは少人数学級実現を～

西松 夏美 (代表)

神戸市中央区

神戸市独自で少人数学級の前進を求める陳情書

(陳情趣旨)

新型コロナウイルス感染拡大による臨時休校の後、学校再開の時に3密を避けるためクラスを半分に分けての分散登校が行われました。20人程度での授業は子どもたちからは「いつもより勉強が良く分かった」「意見を言いやすかった」、先生たちからは「ゆとりを持って、一人ひとりの子どもと丁寧に関われた」との声が聴かれました。

昨年末、世論に後押しされ国は、段階的に35人学級の実施を決めました。神戸市も国の施策通り段階的に実施するとの方針です。しかし、全国では多くの自治体が独自に少人数学級の前倒し実施を行っています。

この1年半、子どもたちや先生たちは、みんなで歌うことや、楽しみにしていた行事が中止される中、がんばって学校生活を送っています。

感染が更に拡大している今、子どもたちの健康を守り、成長と発達を保障する学校生活を実現するために少人数学級を前倒しで実施することは、子どもたちと保護者、教職員の切なる願いです。

よって、以下のことを求めます。

(陳情項目)

- 1、いまずぐ30人以下学級を小学校、中学校で実施してください。
- 2、20人学級をめざし、正規教職員増と教室の確保を神戸市の責任で行ってください。

以上